

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回戸田市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和6年2月13日(火) 午後2時 ~ 午後3時55分
開催場所	新曽南庁舎 2階 さくらパル会議室C
会長氏名	石井 晴夫
出席者名(委員)	石井会長、宮田副会長、酒井委員、大貝委員、金井委員、川杉委員、山本委員、渡辺委員
欠席者名(委員)	吉川委員、清水委員
傍聴人	なし
事務局	水安全部長 渡邊 昌彦 水安全部次長兼総務課長 東口 俊博 水安全部次長兼水道施設課長 山老 英巳 下水道施設課長 寺尾 亮 他職員4名
議 題	案件1「水道事業における適正な水道料金の設定について」 案件2「雨水整備率について」
会議結果	案件1「水道事業における適正な水道料金の設定について」 水道事業における適正な水道料金の設定について審議。 案件2「雨水整備率について」 雨水整備率について報告。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

発言者	内容
事務局	<p>【開会】</p> <p>【会長挨拶】</p> <p>【水安全部長挨拶】</p> <p>【資料確認】</p> <p>【委員出欠状況報告】</p> <p>委員総数10名のうち、半数以上の8名が出席したため、戸田市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定により会議成立。</p>
議長	<p>案件1 水道事業における適正な水道料金の設定について、事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>【水道事業における適正な水道料金の設定について説明】</p>
議長	<p>水道事業における適正な水道料金の設定について、事務局の説明が終わったが、何か意見・質問等があれば、お願いしたい。他の事業体もかなり料金改定を進めているので、副会長からその辺も含めて、意見等あればお願いしたい。</p>
副会長	<p>戸田市に限らず料金改定に踏み切っている事業体はかなり増えており、理由は様々ではあるが、将来に渡って孫の世代に繋いでいくためには経営基盤の強化が必要だということで、料金改定に取り組む事業体が増えてきている傾向にある。戸田市の資料を見ると、28年間料金改定を行ってこなかったということは凄いというのが一つ。しかし、こちらの資料にもあるように、料金回収率で100を割るとするのは、100円のものを80円で売っているという赤字経営を続けているだけである。100円のものを80円で売ってマイナス経営をずっと続けていくことになるので、回収率が100を下回っていく経営と</p>

<p>委員</p>	<p>というのは、事業として困った状況であるため、パターンで言えば、AとBは100%を下回っている時点でこの案は厳しいと思っている。パターンCは一見、料金回収率が100%を超えているが、これは間違いなく10年度には100%を下回る計算であるため、見込みが立たないというか、また赤字経営が続いていくパターンになっていくと思われる。国からの通知や水道料金算定要領にもあるが、パターンDにある資産維持費というものは将来に渡って必要となる経費であり、値上がり分だとか施設の高度化など資産を維持するために費用を乗せていかなければ、将来的にやっていけないと感じている。A Bは100%を下回っているので難しいものであり、Cは短期的にしか維持できない計画となっていると思う。となると改定率は非常に高いが、理論的にはパターンDが水道協会の考え方に一番合致してくると感じる。あとは使用者や市民への配慮という部分と、逆に大口にはあまり負担はかからない両面からの料金の検討というのが必要かと感じている。</p> <p>資産維持費の説明で、老朽化した管の更新費ではなく、浄水場の建て替え費等で50億円、西部なら150億円から200億円、40年で割り返すと年間5億円必要になるとのことなので、パターンDだけでなくパターンEというのも想定しないと、50年100年続く水道事業というのは維持できるのかと、率直に感じる場所である。能登半島も断水で大変な事になっており、やはり水道というのはとても大切であると個人的にも感じている。安ければ安いほど市民としては助かるが、目先の安さを採って5年後に水道が止まるというのでは困るので、専門家の先生が言った通り、パターンDだけでなくパターンEというのも示した上で、その辺りのことも踏まえて、パターンEなりパターンFなりの資料をもっと前向きに出してもらいたい。なかなかこういう機会がないと議論ができないと思う。非常に厳しい事態であるということや激変緩和をどうしていくかというのは、その時点で考えればよい。最終的なゴールまでの絵姿をある程度認識し、皆で同じにした上で、そこまで到達するまでの3年間または5年間ということがあったほうが、納得がいく。次の段階で、あの時検討したがまた見直さざるを得ないというのは、私としては困るという気がする。子や孫の世代にツケを回していくというのは、いかがなものかと思う。</p>
-----------	---

議長	<p>大変貴重な意見をもらった。パターンDの次にパターンEとのことだが、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>パターンDの表の中の純利益相当額が資産維持管理費となり、これが経常的に実施する配水管等の更新費用でありそれを見込んだ額である。こういったものを積み上げていき浄水場の建て替えや、数十年に一度の大規模改修に充てるような費用として想定している。例えば架空の話となるが、過去30年間戸田市は改定していなかったが、これが毎年3億5,000万円積立していれば大体100億円ほどになってくる。そうすると先ほどの浄水場の建て替えについては、大体半分は現金で賄える。本当に乱暴な言い方ではあるが、そういうことができていたであろうが、行ってこなかったということで、戸田市は今後200億円の確保が大きな課題の一つである。今回の5年、10年先の建て替えは当然担保できないが、この辺りをいかに積み上げていけるのかが、今後また次やってくるだろう子や孫世代の次の更新について、少しでも負担を軽減させるため、この辺りは進んで確保しておかなければならないということである。委員からの意見の将来的な負担をいかに見るかという部分であるが、現段階では更新費用を算定できていない。戸田市の水道事業は、令和8年度から上下水道ビジョンという上下水道事業の基本計画を策定予定である。その中で数十年単位での必要額を算定したうえで、その根拠を示していけるようにしたいと思っている。逆に今は先ほど言った通り、浄水場には200億円かかる状況であるが、これは200億円になるか250億円になるか150億円になるか正直わからないところであり、料金改定というシミュレートというところまで反映させるだけの材料をもっていないというのが、正直なところである。</p>
議長	<p>今の事務局の説明では前提条件が崩れてしまう。事務局も今までの積み上げの経験値や物価の高騰など様々な状況を反映して算出した数字であるため、その説明の仕方は相応しくない。委員の皆も、一つのメルクマールとしての提案である。我々もエコノミストとして収支予測等は事業予測として頻繁に行っている。予測を行わなければ、将来を読めないため、前提は大事である。事務局の説明は非常に正直で素晴らしくはあるが、戸田市にとって最良かつ後世に残せる上下水道を築くことが最大のミッションである。そのた</p>

	<p>めにどうすればよいかということをお委員の皆様も心配しているのので、その辺りを含めてしっかり議論をしてもらいたい。事務局からの説明では、原価計算期間は3年であるが、3年というとは非常に短い。3年後には収支がトントンになり、その次から赤字になるという計算である。それを水道法改正で3年から5年に延ばした。ただ急に値上げを実施すると市民に負担がかかるということで市当局の配慮だと思うが、控えめに3年としたものと思われるが、5年としてパターンDで示すことも可能であるのか。</p>
事務局	<p>それは可能である。パターンDでは令和9年までしか示していないが、こちらでラフに計算したところでは、令和11年まで想定はしている。そうすると当期純利益は約3億までは減っていく。分かりやすいのは料金回収率である。3年後も100%というのはパターンCになるが、令和11年度に置き換えると98.63%まで落ちる。今の率で計算すると、逆にその5年後、100%の位置づけとなってその分、下駄を履かせなくてはならないという状況である。</p>
議長	<p>先ほど副会長からも指摘があったように、原価割れというのは事業として成り立たない。当然皆さんも一番心配するところである。また、一昨年、戸田市上下水道事業は、総務省の優良地方公営企業総務大臣表彰をいただいている。その際に条件が付与されており、その条件とは今後の料金回収率はしっかり給水収益のみで100%を超えるということである。これまで給水収益のみで見た場合、料金回収率が100%以下だったため、それが原因でそれ以前は総務大臣表彰から漏れてしまっている。今回はそれを実現することが前提条件である。先ほど委員からも話があったように、能登半島の地震でも未だ水が出ず不便を強いられている状況で、現在も断水はまだ3万戸以上ある。そのような状況で、給水車に頼っている地域も多い。戸田市で発災した際は市民の皆さんにはそのような迷惑はかけられない。西部浄水場が一番規模が大きいので、この浄水場が稼働できれば市民の皆さんへ水は供給可能であり、西部浄水場はなんとしても死守しなければならない浄水場である。そのために何をしたら良いのか、これを突破口にして、議論するということが私は一番大事だと考えている。私も何回か現地を訪れたが、今の西部浄水場の敷地がかなり広いので、稼働しながら給水活動を実施できる場所は、</p>

	<p>西部浄水場しかない。そこに給水所を設ければ、配水池も敷地内にあるので、市民の皆さんの最低限の水は供給可能である。その実態を知っていただきたい。そういったことも含めて、ぜひまた委員の皆さまから議論してもらえればと思う。</p>
委員	<p>消費者としては、今現在、1 m³いくらになるか、それを5年間に、どのくらいの値上げをしたら、採算が合うのか。市としての案などはあるのか。</p>
事務局	<p>パターンCで、給水原価（製造費）1 m³ 158円で、これを133円で売っており、逆ザヤである。25円赤字である。それを収支均衡させるためには、176円で売って、収支均衡させて1 m³あたり4円ほどの利益が出る積算である。今パターンDで見ると、7年度予算でいうと、172円で作って、210円で売る数字になる。そのため、平均的な家庭で見ると、水道料金は2,000円ほど上がる。</p>
委員	<p>そうなると10当たり0.2円の計算になるから、いかに水道水が安いかわかる。ペットボトルは、500ml100円、リッター200円で売っている。広報への記載では、1 m³単位で示しても一般の人には分かりにくいので、水道水が100.2円という様子に書くと分かり易くなる。すると、市販の飲み水に比べ水道水は安いと感じる。消費者には、比較して理解し易い指標で説明すれば、市民も納得するのではないかと考える。</p>
議長	<p>今の指摘も大変重要なところで、これを踏まえて委員のご指摘のように、パターン毎に、供給単価と給水原価の価格設定を棒グラフ等で示せるとよい。同時に、ペットボトルの場合には、例えば500mlで100円とすれば、水道水の場合には、ペットボトル500mlで0.2円又は0.1円と表記すれば、一目瞭然でわかると思う。</p>
委員	<p>3年で回収率100%、原価と売値が同じであるとのことだが、5年先の数字も示していただきたい。3年では、少し不安という気がする。</p>
議長	<p>今の委員の発言は、5年間の図を作成して、示してもらいたいという事で</p>

	<p>ある。原価計算期間のベースは3年であるが、5年と比較したいため、それを次回の審議会で示して欲しいということである。</p>
事務局	<p>10年度、11年度の場合、供給単価が、176.74円が変わらないが、給水原価（製造費）が179.2円まで上昇し、費用が3円ほど上がるという状況である。要するに3円だけマイナスになるという、赤字になるよという話である。率でいうと、5年後は98%まで下がってしまうのである。10年度は、177.94円である。11年が179.20円。その分、利益が減っていく。</p>
議長	<p>これについても、次の審議会で図示していただきたい。</p>
委員	<p>このパターンAからDは非常によくできていると思うが、最低でもC、できればDという、そういうイメージで、このCからDの間で、とりあえずはなんとか落とすところを探る、そういうイメージであると思う。先ほど100億円になるか、200億円になるかという話もあったが、現時点でどれくらいかという、想定外もあると思うが、そういうのも含めて、この34.8%から62.6%で、特化するというのが私は一番妥当なのかなという感じはした。</p>
副会長	<p>いろいろ意見があったが、10年度以降がどうなるのかという話もあると思うが、3年から5年という算定期間というのは、必ず5年間で見直せと、改定しろというものではなく、その料金水準が適正かを確認するというのが3年から5年というもので、必ず3年、5年で改定しろという意味ではない。3年から5年くらいの期間で、一度立ち戻って料金水準を確認しようというのが、算定期間というものである。逆にこれが10年先まで黒字が計上されていくような計画は、今度は世代間の公平の差などを考慮すると、その辺が長すぎても短すぎてもいけないということであり、5年くらいというのは一つ目安になると感じている。やはり給水収益に限らず、企業債や国からの借金などもあり、これはバランスよく考えていかなければならないので、長すぎてもいけないということも感じている。そういう意味で国も3年、5年という数字を使っているのだから、5年間くらい経営が安定したときに立ち戻ってそこでまたこういった審議会でその料金水準が適切かを検討していく。次世代を見ていくと、そのようなやり方になるのではというふうには、全体的な思い</p>

<p>委員</p>	<p>で感じている。</p> <p>上水の料金体系の見直しという事の裏に下水道事業の安定的な経営という事も一方で水安全部が責任を負われているかと思っており、上水の方は何とかなった反面、恐らく同じような話がもう一つ下水にも隠れている。下手をすると上水よりも下水の方が恐らく経営は厳しい状況になっているという事も想定されると思っている。戸田市の水道料金と下水道料金をどういう風に徴収されているのか、恐らく、一緒に取られている自治体も多くあると思うのだが、その辺も含めて今回、上水は値上げするけど下水の方はそのままにするのか、そういった議論が無かったようなので、その辺は次回の審議会の時結構だがその辺りの考えも聞いておきたい所が一つある。全体的な意味で言うと上水と下水の両方を見ないと恐らく施設管理や維持管理にかかる費用は、ある程度同じ共通する部分はありつつも別々の管路であるなど、別々の施設を管理しているという所でバランスを見る必要がある。上水道を値上げしてさらに下水も値上げすると言った時にさすがに市民の方になかなか説明するのは難しくなる。そうすると考え方として上水を値上げして下水はしばらく値上げしないという方針でいくのか、上水の方をある程度で留めておき下水の方をある程度の所にするのか、そういった議論が必要ではないかを感じる。下水道事業団の立場としては、その辺を感じた所が一点である。もう一点は、今回の水道料金という事でやはり経費回収率の観点でいえば 100%という所が一つどうしても死守しなければならない考え方であると思っているので、その意味ではパターン C・D を中心とした料金設定、その中にどこまでの将来見通しとしては、どこまでを織り込むか、結局費用もこれくらいかかると仮置きしないとわからない事だが今後の想定として、費用は増大していく、しかし人口は減っていく、その時に今までと同じ施設を維持するのもしないのか、単なる更新ではなくて改修、改築にする時に現状と同じだけの施設規模を維持するという事が必要なのかどうかの議論も必要になってくるかと思っている。これはすぐに結論が出る話ではないがそういった視点も入れてもらう必要があるかと感じた。</p>
<p>事務局</p>	<p>下水については、戸田市では平成 29 年度に下水のみ料金改定を行い現状は経費回収率 100%を維持している。このため近々の課題として今回は水道料</p>

	<p>金を先行して行う。ただ、水道には県水を買っているように、下水には流す費用がかかってくるが、今回急遽、埼玉県から維持管理費負担金の値上げの機運がでていて、まだ詳細が判明していないがイレギュラーな状況は発生している所である。スケジュール的に同時期に下水の値上げは出来ない状況がある。県の維持費が上昇する分、経費回収率は赤字になる可能性があるので、そうなるかと改めての料金改定が発生する可能性はある。現在、水道ビジョンと下水道ビジョンの2つを並行しているが、令和8年度からは統合して上下水道ビジョンというのを策定する。これまでのビジョンは総花的な部分が大きかったが今後上下水道ビジョンの中で将来的な経費算定、上水下水合わせて詳細なシミュレートをして今後の料金改定、想定なども含めてより実践的なビジョンの策定を考えている。そういった中ではもちろん下水の方も含めての改定が行われていくと思う。平成29年度に下水道の料金改定を行った要因の一つとしては法定外の繰入れがあった。料金の赤字の部分を一般会計、市の税金から補填してもらっていた状況があった。それを解消するために29年度に改正し補填をなくして、なんとか今まで回収率100%維持している状況である。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり建物に対する建築関係というか施設関係とか、戸田市はさいたま市や川口市民の方に聞いても安くていいと言われる。生活費の中で消費するところなので、安い事は良いことだが競艇場の関係の収入が要因の安さなら使用者にもそれなりの負担をしてもらってもいいのかと少し考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>回収率の問題だが、水道の場合は生活と密着している。水道は滞納したからといってすぐに止めるわけにはいけないので100%回収率を求めるというのはどうなのかと思う。その点で100%目標について伺う。</p>
<p>事務局</p>	<p>収納率と回収率は異なり、委員の質問は収納率となるがこれは約100%となっている。滞納が続くと給水停止の措置をしており基本的には払われている。会社が倒産してしまうなど、特殊な要因により100%は難しいが、現状99.8%、ほぼ99.9%に近い数字である。収納率に関しては大きく料金の経営に影響する状況ではない。</p>

議長	<p>また、戸田市の有収率は全国トップクラスである。漏水もほとんどなく、水安全部の努力は評価できる。他市の一部の地域や集団において、水道料金を敢えて払わないといった事例もあるが、戸田市の場合は市民の皆さんの理解も高く、収納率が高い。</p>
委員	<p>下水の話で、県の方から諸々の高騰もあり値上げの機運があることについてだが、例えば県から戸田市に値上げが通知されて払わなければいけないけれども、その時は逆ザヤでということも想定しているということなのか。私が思うのは、単純に外部要因の場合、それは仕方がないのではないかと思う。それを阻止するのが地元選出の県会議員であり、また負担をどうするのか、一般財源で埋める形になると歪な形になるので、そのような外部要因的な場合は、民間でも経費連動型だとか、一定の費用なり色々な収益に連動してみたいな、自動計算的なところもあったりするので、検討する必要があると思う。改定作業というのは力仕事であるので、その辺の仕組みも考えられてもいいのではないかと思う。</p>
事務局	<p>下水料金については本当に寝耳に水な話で、水道料金は2年くらい前から引き上げの件は話が出ていた。やはり各市町村、非常に困惑している。県の説明では、上げ幅すらも確定しておらず、2割くらい上がるかもしれないといった程度のことを言っている。各市町村も反対である。もちろん経費の上昇は承知しているので、引き上げについて理解はするが、話の展開があまりにも乱暴だというのが各市町村共通の認識である。他市ではヒアリングの場さえ拒否したということを知っている。他市町村同様、戸田市ももちろん反対している。あくまで県は個人相手ではなく、市町村相手なので今の考え方をそのまま通す可能性はある。ただそうするとやはり、事業体としては、単年度、2年度は赤字にせざるを得ないのである。そういう状況も発生することはあると思う。</p>
議長	<p>感触的には、どのくらい県は上げたいのか。</p>
事務局	<p>水道は2割と知っているのですが、下水も2割だと言っている。</p>

議長	<p>確かに流域で県が行っている処理場の方が、単独よりも単価は戸田市にとってメリットはあるらしい。そこは足元を見てなのだが、さいたま市にとっては単独で処理施設を持っているので、恐らく承服出来ないであろう。難しい問題であるが、これは最近のことなのか。</p>
事務局	<p>昨年の中ごろである。ただ実際にこの南部流域の値上げの件については、1月の中旬である。</p>
委員	<p>抵抗できるものなのか。</p>
事務局	<p>県の料金改定については、各自治体の事情に対しての遠慮というのではないと思われる。</p>
委員	<p>決定的なのは市の後ろには市民がいる。だから単純に市が板挟みになることはないと思う。市民対県の構図にした方が良くと思う。</p>
事務局	<p>今の件だが、これはまだ不確定な情報が多すぎて、当然今の委員が言われる通り、外的要因の値上げや原価の上がったものに関しては、戸田市の皆さんの使用料の中でそれを転化していく。県で値上げした分は、きちんと下水道料金に転化していくというのが前提だと思っている。ただ困ったことに、先ほどのスケジュールの中で話した通り、県の値上げのスケジュールと、戸田市でもし値上げをする場合のスケジュールを考えると、我々としては市民のために周知期間を半年くらい持ちたいという思いがあった。もし仮に県で急遽値上げした、あるいは値上げするということになった時に、周知期間が欲しいというのが我々の方針である。ですので、少しタイミングがずれるかもしれないが、経営のことを考えてやはり原則は原価が上がったのならば、上げざるを得ないと事務局は考えている。ただ合わせて、市民の皆さんに対してもそれなりに説明が必要になってくるので、この説明に関しては、引き続き県に求めていくという姿勢も同時に持ち合わせているので、先ほど、事務局から説明したが、あくまでもそれは説明不足だということを、県に対してこれからも引き続き話をし、きちんと収束させた上で、もし転価するような事態があれば、また皆さんに理解をいただいて、転価させていただくよう</p>

	<p>な方向で説明したいと思うので、ご了解願いたい。</p> <p>議長 また情報等進展があったら、教えていただければと思う。 定刻の時間が迫っており、案件2が残っているので、案件1の水道事業における適正な水道料金の設定については、あと2回ほど議論する時間を用意してあるということなので、本日としてはこれまでの審議内容を踏まえると、パターンDが前回の提言や国の趣旨に添った内容であるということ、委員からの概ねの賛同をいただいているが、パターンCについても、そしてさらにパターンEという新たな提案もいただいた。そういう中で今後、2つのパターン又は3つのパターンになるか、次回に向けて進めていきたいと思っている。特に戸田市の場合には、先ほども話があったように、1世帯あたりの世帯人口が2.08でほぼ2人である。そういう中で事業構造が大きくこの10年間で変わった。今後どういう形がいいのか、それから激変緩和という話もいただいたので、そのことについても次回の審議会で見聞をいただけるような詳細なシミュレーションをやっていきたいと思っている。 委員からも分かりやすい資料をという提案をいただいた。今後は、多くの自治体の料金改定に精通している日本水道協会副会長の意見を賜わりながら、各パターンに応じた料金の詳細のシミュレーションをやっていきたいと思っているので、そういう方向で委員の皆さんよろしいか。</p> <p>委員 異議なし。</p> <p>議長 それでは事務局は副会長に相談しながら、対応をお願いする。次回の審議会までに、2つのパターンあるいは3つのパターンというところを、私もまた相談させていただきながら詰めていきたいと思っている。世帯人数別の料金シミュレーションの算出等もお願いしたいと思う。最後に、案件2の雨水整備率について事務局からから説明をお願いする。</p> <p>事務局 【事務局より説明】</p> <p>議長 何か今の件について、質問、意見等はあるか。</p>
--	--

委員	なし。
議長	本日の議事は以上とさせていただきます。それでは進行を事務局にお返しする。
事務局	【閉会】